

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般財団法人 オペラアーツ振興財団
公演団体名	有限会社 アーツ・カンパニー

内容
<ol style="list-style-type: none">1. 主指導者、歌唱指導、演技指導、振付け指導、ピアニスト(計6名)で児童・生徒の指導にあたります。2. 実演を織り交ぜながら、総合芸術であるオペラの魅力について解説します。3. 小学校では、第4幕「闘牛士の行進」の歌唱稽古に続き演技の練習を行います。 中学校では、歌チームとダンスチームの二手に分かれ、歌チームは第2幕「闘牛士の歌」の歌唱と演技の練習を、ダンスチームは第2幕「ジプシーソング」の音楽に合わせてフラメンコの振付けを行います。【個人選出型】4. 体育館にて第2幕「闘牛士の歌」の歌唱と演技の練習を行います。そこから正しい発声と基礎演技の所作を学んでもらいます。【全員参加型】5. 最後に体育館のステージにて、本番を意識した総仕上げをし、締めくくり公演当日までの心構えを伝えます。

タイムスケジュール (標準)				
到着	ワークショップ①	休憩	ワークショップ②	終わりの挨拶
WS 開始 15 分前	45分 (音楽稽古)	5 分	45 分 (演出稽古)	5 分

※ワークショップの目安は、概ね2時限分程度です。

派遣者数
【総勢 6 名】 主指導者、歌唱指導、演技指導、振付け指導、ピアニスト

学校における事前指導
<ol style="list-style-type: none">1. 予習と復習を想定した歌唱指導用 CD、振付け指導用 DVD の事前送付<ul style="list-style-type: none">・小学校向けの第4幕「闘牛士の行進」の歌唱指導用 CD・中学校向けの第2幕「ジプシーソング」の振付け指導用 DVD、第2幕「闘牛士の歌」の歌唱指導用 CDをワークショップの事前送付させて頂く事で、予習用の教材として使用可能であることと、ワークショップ後の復習用の教材としても活用いただけます。 またご希望の学校には、YouTube にアップした同音源と映像をいつでもご覧いただけるよう

に準備をしておくことで、各ご家庭でも個人練習が可能となり、特に音楽専科の先生のご負担を軽減できる事と、参加児童・生徒が予習、復習、個人練習ができる環境を整えることで、本公演における本番のクオリティをさらに高める効果が期待できます。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	一般財団法人 オペラアーツ振興財団
公演団体名	有限会社 アーツ・カンパニー

演目
<p>【オペラ「カルメン」(全4幕・日本語上演)】 公演時間(90 分) 作曲:ジョルジュ・ビゼー 原作:プロスペル・メリメ 演出:山田大輔 美術:川口直次 衣裳:岸井克己 演出プラン:山田純彦 照明プラン:中山安孝・望月昭治 音響プラン:小用浩史</p>

派遣者数
<p>【総勢 : 34 名】 (出演者 : 22 名) 指揮者 キャスト(カルメン ドンホセ ミカエラ エスカミーリョ フラスキータ メルセデス ダンカイロ レメンダード スニガ) 合唱(オペラアーツ合唱団) 演奏(エレクトーン奏者 打楽器奏者) (スタッフ : 12 名) 演出 演出助手 舞台監督 舞台監督助手 照明スタッフ 音響技師 副指揮</p>

タイムスケジュール (標準)					
前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2 時間程度)					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9時	9時～12時 (リハーサル含む)	13時30分 ～15時00分	15分	15時00分 ～16時10分	16時30分
※本公演時間の目安は、午後1時30分から概ね2時限分程度です。					

実施校への協力依頼人員
特に無し

演目解説

【主な登場人物】

カルメン(タイトルロール)	ドン・ホセ(伍長)	エスカミーリョ(闘牛士)
ミカエラ(ホセの許嫁)	ダンカイト(密輸入)	レメンダード(密輸入)
フラスキータ(ジプシー女)	メルセデス(ジプシー女)	スニガ(中尉)

【あらすじ】 1830年頃のスペイン、セビリヤとその付近

第1幕 (セビリヤの街の広場)

その日ホセの運命は変わった。カルメンから赤い花を投げられ、その魔力に心が揺らいだその時、許嫁のミカエラに声をかけられ正気にかえる。タバコ工場で騒ぎが起こり喧嘩の元はカルメン。彼女を捕らえ牢まで護送する途中、彼女の「逃がしてよ…」の囁きに、思わずホセは逃がしてしまう。

第2幕 (リヤス・パステアの酒場)

皆がよく行く酒場は、今日も歌や踊りで賑わう(中学生参加箇所)。さらに闘牛士エスカミーリョが登場し民衆は歓喜に満ちて歌う(中学生参加箇所)。皆が帰った後、牢屋から出たホセがカルメンを訪ねにきた。彼女は歌い踊って歓迎し、ホセを密輸入の仲間に誘う。困惑しているホセを密輸入団が取り囲み、彼を密輸入団の仲間に引き込む。

第3幕 (寂しい岩山の中)

危険な密輸入業者の隠れ家へ、カルメンを探しにエスカミーリョが、そしてホセを探しにミカエラがきた。カルメンはそんなエスカミーリョに惹かれ、ミカエラから母親の危篤を知らされたホセは、仕方なく山を降りていく。

第4幕 (セビリヤの闘牛場前の広場)

闘牛士の試合当日、子供たちが広場で今か今かとはしゃいでいる。待ちわびていたエスカミーリョを闘牛場に走って追いかける子供たち(小学生参加箇所)。カルメンが一人になったところを見計らってホセは「もう一度やり直そう」と愛を語る。何度も哀願するホセにカルメンはもらった指輪を投げ捨て、歓声の上がる闘牛場に向かおうとするカルメンを、ホセが愛ゆえに...

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

【個人選出型の場合】 ※尚、選出は各学校にて行われます

1. 小学校では、児童代表(8名)がスペイン(セビリア)の闘牛場前の広場で遊ぶ子供たちに扮し、第4幕「闘牛士の行進」で子供らしく元気に歌い演じます。
2. 中学校では、第2幕「ジプシーソング」で生徒代表(4名)にフラメンコを踊り、続いて第2幕「闘牛士の歌」で生徒代表(8名)が合唱を歌い演じます。
3. さらに総合芸術であるオペラを体験して頂くために、舞台メイクをし、舞台衣裳を着ます。
4. 支援学校では、第2幕「闘牛士の歌」の場面に参加します。例えば先生の介添えにより、車椅子やストレッチャーでの参加も可能です。

【全員参加型の場合】

5. 学校の意向で個人選出が難しい場合等は、学年単位または全校で、第2幕「闘牛士の歌」の場面に参加します。

児童生徒とのふれあい

学校での貴重な時間と大切な児童・生徒をお預かりしているという自覚と責任感、礼節を持って、指導に当たります。初対面ということもあり、児童・生徒へ緊張感を抱かせないように、明るく、エネルギーとスピード感を持って限られた時間内で、双方が共に喜び合える時間とします。

ワークショップでは

1. オペラの解説から、児童・生徒自身がこれからどういったものに参加をし、どんな役を演じ、どんな場面に出演するのかをしっかりとイメージし、理解を深めます。
2. さらにオペラの具体的なイメージを持ってもらうために、「序曲」、「ハバネラ」、「闘牛士の歌」の実演をすることで、知らないと思っていたオペラを身近に感じてもらい、主体的に参加したいという意欲を掻き立てます。
3. より遠くに表現を伝えるための発声練習、基礎演技を行います。
4. 楽譜の暗譜、演技や振付けを覚えることを、限られた時間内で仕上げる目標を立てます。
5. 皆で創り上げることの大切さを共有し、理解した上で練習に臨むこと、加えて集中すること、真剣に取り組むことの大切さをお互いに確認し合います。

